

先駆けを！

夢の実現におけて！

学校報

望洋

東海大学付属市原望洋高等学校

編集：メディアセンター

2016年11月30日 第128号

## 開校 30 周年記念式典を挙行



11月12日(土)、本校体育館において「東海大学付属市原望洋高等学校 開校 30 周年記念式典」を挙行了しました。本校は1889年に東京新宿に開校した女子独立学校を前身として、1973年に現在の市原市に移転。その後、校名変更を重ねて1986年に男女共学の東海大学付属望洋高等学校として開校。今年度はさらに校名に「市原」を冠して30周年を迎えました。式典には、小出譲治市原市長をはじめ学園の内外から多くの来賓を迎え、全校生徒・教職員と共に30周年を祝いました。式典の後には吹奏楽部による記念演奏も披露。厳粛な中にも心温まる、素晴らしい式典となりました。

### 開校 30 周年記念式典 校長式辞 (全文)

本日は、東海大学付属市原望洋高等学校の開校30周年記念式典を挙行するにあたりまして、市原市長の小出譲治様、市原市中学校長会会長の内藤武雄先生はじめ、市原市内全22校の中学校の校長先生方、地域の学校関係の皆様など、多くのご来賓の皆様のご臨席をたまわりまして、厚く御礼申し上げます。また、本校の後援会、望洋会、同窓会の役員の皆様、学園関係と旧職員の皆様、日ごろから大変お世話になっております地域と、関連企業などのご来賓の皆様のご臨席をたまわりまして、このように記念式典を挙行できますことは、この上ない喜びであります。本校を代表して御礼を申し上げます。ありがとうございます。

本日の式典は、生徒も一緒にお祝いしようということで、本校の生徒全員が参加しています。これには、これからの本校の歴史を作っていく主体は生徒達であるという思いが込められています。

さて、本校は1986年に市原市のこの地で、前身の東海大学精華女子高等学校から男女共学の東海大学付属望洋高等学校に校名を変更し、開校しました。開校以来、東海大学の建学の精神を軸に、付属高校として着実な歩みを重ねて、発展してまいりました。これもひとえに歴代の校長先生と、教職員の熱心なご指導と、その時々を生徒と卒業生のご努力、さらには保護者と関係者の皆様の長年にわたるご支援とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

本校の礎は、東海大学の建学の精神に基づいた一貫教育にあります。東海大学創立者の松前重義博士は、心身共に著しく成長する中高生の学校教育が、知識偏重の受験教育によって歪められている風潮を強く憂いました。これを打破するために、付属幼稚園から大学、大学院までの教育機関を全国に開設し、各教育機関において発達段階に応じた全人的な教育を行う、東海大学一貫教育システムを構築しました。

本校も開校当初から、東海大学の一貫教育の一翼を担う付属高校として、生徒の個性を尊重し、文理に偏らない学習によって、自ら考え正しいもの見方と考え方を養ってきました。さらに、課外活動である部活動などを通して、心身を磨き、調和のとれた人間形成に努めてきました。

本校は開校以来すでに10,604名の卒業生が巣立ち、例年その約8割前後が付属推薦入学によって東海大学に進学しています。その後はそれぞれの道を自ら切り開き、社会の様々な分野で重要な役割を担って活躍されています。

このように、東海大学の付属高校として、社会に優秀な人材を多数輩出し、30周年という節目の時を迎えられたことは、我々教職員にとってこの上ない喜びです。本校の歴史を築かれた先達と、卒業生の皆様に敬意を表すと共に、今まで築き上げてきた伝統を生かしつつ教育内容を見直し、さらに発展させるよう学校改革に取り組んでまいります。今の時代に対応した、あるいは時代をリードするような教育を求めていかなければなりません。新しい時代の学校づくりのために、全教職員が一致団結して積極的に学校改革に取り組み、一貫教育を発展させていく所存です。

今年度の最も大きな学校改革は、「東海大学付属市原望洋高等学校」への校名変更です。他の付属高校と同様に所在地の名前の入った校名となりました。市原市にある東海大学の付属高校として、千葉県はもとより、全国に人間教育による文武両道を実現する「東海大市原望洋高校」として認知され、さらに地域に根差して地域の皆さんに愛される存在を目指しています。

そして、1年生の週6日制への移行、新カリキュラムの導入と新しい制服の採用、全学年3学期制への移行など、教育体制の充実を図る学校改革に取り組んでいます。さらに、教育環境の充実を図るために、この夏休みには教室棟である3号館のリニューアル工事を実施し、生徒は9月から新しい教室で、新しい机と椅子で勉学に励んでいます。

来年度は、新しいカリキュラムの導入による授業改善に取り組み、運動施設・設備の充実のために、体育館のリニューアル工事を実施し、室内外の運動施設の整備に取り組めます。また、ICT（情報通信技術）環境の整備による新しい教育活動の充実にも取り組む予定です。

これから本校を卒業していく生徒たちは、益々活躍の場が世界中にひろがっていくはずですが、国際的な視野を身に付け、少々のことではへこたれない力強さも必要です。そのためにも、しっかりした思想をもち、心身ともに健全な青年に育てたいと思います。

今日のこの開校30周年記念式典を、東海大学付属市原望洋高等学校の次の40周年、50周年に向けて、さらなる伝統を創造する出発の日として、生徒・教職員一同、決意を新たに学校生活を送っていきたいと思います。

ここにご列席いただきました皆様には、今までにもまして、今後ご支援、ご指導をお願い致します、私の式辞と致します。本日はありがとうございました。

## 建学祭を開催



10月29日(土)・30日(日)の2日間に渡り、2016年度 建学祭を開催しました。今年の建学祭テーマは「Creating History ～新しい1ページ～」。今年度も両日を一般公開日とし、開校30周年の年にふさわしい盛大な文化祭として、2千人を超える多くのお客様を迎えました。本校の建学祭は、展示・娯楽、ステージ、イベント、模擬店の4部門から構成されています。各クラスや委員会、部活動や有志団体等が、工夫を凝らした取り組みを公開しました。左の写真はその一つ、バトン部によるパフォーマンスです。ステージ部門ではこの他に、吹奏楽部によるコンサートや、3年生のクラスによる演劇や歌謡ショーなど、どれをとっても見ごたえのあるものとなっていました。両日も曇りがちの寒い天候となりましたが、生徒たちの笑顔は秋晴れそのものでした。

### 建学祭を終えて

建学祭実行委員長 3年1組 都築 賢孝

建学祭実行委員長の都築賢孝です。今年の建学祭のテーマは「Creating History ～新しい1ページ～」でした。このテーマには、新しい歴史を創り上げるという私たちの思いを込めました。私たちは、昨年新たに生まれ変わって成功をおさめた建学祭を「0ページ目」と考え、今年の建学祭はそれを引き継いで成功をおさめ、「新しい1ページ目」を創り上げるという目標を立てて、準備を進めてきました。そして、建学祭前日。オープニング・セレモニーは大盛り上がりでした。生徒会で作成したムービーや、有志生徒によるサプライズ、また、各クラスの宣伝タイムは、これから始まる建学祭への意気込みを高めてくれました。建学祭1日目、私は事情により出席できませんでした。しかし、2日目の様子を見ると、みんながみんな精一杯に頑張り、思う存分に建学祭を楽しむ様子が見えました。その時、昨日もとてもよい建学祭だったのだと確信しました。2日目もとても盛り上がり、学校内のどこに行っても笑顔があふれていました。人と人とのつながりを感じられる建学祭となり、今年の建学祭は大成功に終わりました。みんなお疲れ様でした。本当にありがとうございました。

### 建学祭を終えて

生徒会長 3年3組 中村 泰成

生徒会一番の大仕事であり、3年生にとって最後の行事がとうとう終わってしまいました。私たち生徒会は本番に向けて、3月ごろから準備をはじめ、たくさんの苦労を経てここまで登りつめました。緊張やプレッシャーの中、本当にみんなが頑張ってくれました。私一人だけでは絶対に乗り越えられないようなところも、先生・生徒・保護者の方々がいてくれたおかげで乗り越えられました。ありがとうございました。さて、今回の建学祭。私の中での目標、「去年よりも濃いものにする」は達成できたと思います。去年よりも今年、今年よりも来年と、グレードアップできるかどうかは、生徒会次第だと思います。オープニング・セレモニーも含め、来年は今年を超える最高傑作となることに期待したいと思います。先輩たちが卒業して背負うものが大きくなり、後輩たちが悩んで右往左往する日もそう遠くはないと思います。そんな時にこそ私たちとの経験を活かし、固い意志をもって行動してください。大成功を期待します。



### 汗と涙の末

3年2組 小沢 聡士

当初、私たちのクラスは話がうまくまとまっておらず、戦隊モノムービーの制作がまったく進んでいませんでした。このままでは中途半端になってしまうと思い、私と数名の仲間でもからストーリーなどを決めました。それからは、毎日が苦難と葛藤の日々。撮影のために文化の森へ行く途中の急な坂が私たちの心臓をひどく苦しめ、2時間かけて撮った動画が約1分だったり、日付が変わっても編集していたりという試練を乗り越えた末に、ムービーは完成しました。建学祭の当日、たくさんの人が見に来てくださった中で一番心に響いたのはこどもの笑顔で、その時は本気で頑張った甲斐があったと思いました。こうして最後の建学祭を成功裏に終えることができたのは、仲間のおかげです。みんな有難う。

### 建学祭を終えて

2年4組 金井 結花

私は、今年2度目の建学祭実行委員を務めました。活動当初は、去年は起こらなかったようなことも起こり、戸惑うことが多く、大変でした。しかし、同じ委員会のメンバーやクラスメイトの協力があって準備はスムーズに進み、建学祭当日も滞りなく活動することができました。ありがとうございました。2年4組のチョコレートフォンデュは、試作の段階で苦勞し、当日完売することができるとても心配していました。食券の前売り時点ではあまり売れず、不安でした。しかし、2日間とも天候が悪い中、たくさんの方々が来校してくださり、完売することができました。クラスメイトから完売したという報告を聞いたときは、とても嬉しく思いました。大変なこともありましたが、建学祭が成功して良かったと思います。来年は今年を越えられるように、頑張りたいと思います。

## 2016年度 建学式典を挙行 齋藤美由起先生・渡邊洋児先生に永年勤続表彰



11月1日は東海大学の建学記念日です。本校では11月2日(水)、東海大学建学74周年を祝う建学記念式典を挙行了しました。また当日は、黒坂道生校長による式辞の後、勤続30周年を迎えた齋藤美由起教諭と20周年を迎えた渡邊洋児教諭の永年勤続表彰も行われました。号は特別寄稿として、渡邊教諭に生徒へのメッセージをお願いしました。

### 勤続20年を振り返って 地理歴史科・公民科 先生センター室長代行 渡邊 洋児

1996年4月、私は東海大学付属望洋高等学校に着任しました。それまで、千葉県には何度か足を踏み入れたことがあったものの、自分にとっては全く縁もゆかりも無い場所でした。まさか自分が千葉に住んで千葉で働くことになるとは夢にも思いませんでした。この年、望洋高校は開校11年目、秋には10周年記念式典が行われました。それから20年、長かったとも短かったとも思います。さて、生徒の皆さんにとっては、20年前というどのような時なのでしょう。「自分が生まれる前のことだし、20年前なんてそんなこと考えたこともない。」「そんな前のことは自分には関係ない。」といった声が聞こえてくるような気がします。本当にそうでしょうか？20年前は、本当に皆さんにとって遠い過去で、皆さんとは関係がない時なのでしょう？そんなことはありません。だって20年前、皆さんのお父さんとお母さんは確実にこの世界に存在していたのですから。その時、お父さんとお母さんは、まだ、全くの他人だったかもしれません。あるいは、すでに出会っていたかもしれません。もう結婚していたことも考えられます。今、皆さんが市原望洋高校に毎日通っているのも、皆さんのお父さんとお母さんの出会いがあったからなのです。今の皆さんにとっても、20年前は無関係な時ではないのです。皆さんは、今、15歳から18歳です。でも、皆さんの歴史は皆さんが生きてきた年数だけではありません。皆さんのお父さんお母さん、お祖父さんお祖母さん、更にその上の世代の方々もいたからこそ、今、皆さんがここに存在しているのです。皆さんには、さかのぼればほとんど無限といってもいいような歴史が存在するのです。皆さんだけではありません。すべての物に悠久の歴史があるのです。「昨日があるから今日がある、今日があるから明日がある、すべての物に歴史がある。」過去を振り返ることで今を、そして未来を考えてみてください。

## 島孝明くん(3年生)がドラフト会議で千葉ロッテマリーンズから指名

ドラフトで指名されて

3年3組 島 孝明

直前まで実感がなく、不思議と落ち着いていました。しかし、いざ指名が始まり、名前が呼ばれ始めるとドキドキして不安でいっぱいになりました。大勢の記者の方々に囲まれながら、野球部の仲間たちと指名されるのを待ちました。そして、指名された瞬間、重苦しい雰囲気が一変し、喜びが満ち溢れました。自分自身、やっとスタートラインに立てたという安心感と、一刻も早く一軍で活躍したいという気持ちが湧いてきました。高校での部活動を引退した後、これまで以上に高い意識をもって練習に取り組んできましたし、卒業まで続けていきます。来年のキャンプでは出遅れることなく、また、周りに合わせるのではなく、自分の考えや自分にしかできないことを大切にしていきます。プロに入っても「自分らしく」やっていければ、と思っています。



### 望洋リレーエッセイ(76) 大橋謙一先生

このコーナーでは、今年度着任された本校教職員によるエッセイを掲載します。その第5回は、大橋謙一先生です。



人はみな人の助けで生きているそれに気付いて一人前なり

この歌は9月に短歌創作の授業で3年生が詠んだものである。歌会を行った際、クラスメイトから多くの共感を得た一首である。そして先日の建学祭、この歌主のクラスで劇をやるというので観に行っただ。これが素晴らしかった。壁一面のポリ袋、紙製のシャンデリア、お城、小道具、衣装にメイク、荒削りなストーリー、ネタやダンス。すべてから滲み出る手作り感と一生懸命さ。それは観客を楽しみ気分にさせ、心を癒し、その場を温かい空気で包んだ。きっと彼らは人と人が「助け合う力」を改めて確認できただろう。そこは立派な劇場であった。

### 連絡板

- サッカー部：全国高校サッカー選手権大会 千葉県予選 決勝トーナメント出場。
- 陸上競技部：第71回 国民体育大会 少女女子A400m 秦野南美、3位。日本ジュニア・ユース陸上競技選手権大会 ジュニア女子400m 秦野南美、優勝。ユース男子800m 鶴澤葉月、8位。第20回 関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会 男子400mハードル 小川力哉、優勝。女子800m 麻生真希、6位。
- ソフトボール部：平成28年度 千葉県高等学校新人ソフトボール大会、ベスト4(第3位)。第47回東日本高等学校ソフトボール大会出場。
- 射撃部：平成28年度 第14回 関東高等学校ライフル射撃競技選抜大会千葉県予選会 ビームピストル男子個人の部 樋口大和、準優勝。ビームピストル女子個人の部 吉田遥香、準優勝。エアライフル男子個人の部 岸孝之、4位。関東選抜本選出場。
- 野球部：平成28年度 第69回 秋季千葉県高等学校野球大会、優勝。平成28年度 第69回 秋季関東地区高等学校野球大会、準優勝。



### 告知

#### 東海大学付属市原望洋高等学校 吹奏楽部 第15回 定期演奏会

12月25日(日)

市原市市民会館 大ホール 開場：13:15 開演：14:00

※当日はJR内房線五井駅よりシャトルバスを運行します。 ※入場には入場整理券が必要です。

#### <今後の行事>

11月	
11月30日(水)	カウンセリング 22
12月	
12月6日(火)	期末試験 (～9)
12月10日(土)	採点日
12月12日(月)	答案返却日
12月13日(火)	特別授業 (～16)
12月14日(水)	カウンセリング 23

12月17日(土)	終業式・LHR・大掃除 三者面談開始 (～20)
12月18日(日)	第36回 ヨーロッパ研修旅行事前研修
12月19日(月)	第36回 ヨーロッパ研修旅行 (～12/28)
12月25日(日)	第15回 吹奏楽部定期演奏会
1月	
1月10日(火)	始業式 (6限授業)

**編集後記** 学校報「望洋」128号をお届けします。今号は開校30周年式典をはじめ、建学祭を中心に編みました。2学期も残りあと少し、万全の備えで期末試験に臨みましょう。(寿)

